

2020年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月11日

上場会社名 株式会社 山陽百貨店
 コード番号 8257 URL <http://www.sanyo-dp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高野 勝
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務統括部長 (氏名) 三浦 修一
 四半期報告書提出予定日 2019年10月11日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 079-223-1231

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第2四半期の連結業績(2019年3月1日～2019年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第2四半期	9,987	2.5	173	17.3	210	16.1	146	22.6
2019年2月期第2四半期	9,741	4.5	148		181	422.9	119	359.8

(注) 包括利益 2020年2月期第2四半期 140百万円 (20.4%) 2019年2月期第2四半期 116百万円 (310.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第2四半期	182.35	
2019年2月期第2四半期	148.70	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年2月期第2四半期	13,846	2,256	16.3
2019年2月期	13,970	2,115	15.1

(参考) 自己資本 2020年2月期第2四半期 2,256百万円 2019年2月期 2,115百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期				0.00	0.00
2020年2月期					
2020年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年2月期の連結業績予想(2019年3月1日～2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,008	1.3	310	5.4	364	1.1	245	6.1	305.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年2月期2Q	810,000 株	2019年2月期	810,000 株
期末自己株式数	2020年2月期2Q	7,693 株	2019年2月期	7,683 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年2月期2Q	802,311 株	2019年2月期2Q	802,471 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年3月1日～2019年8月31日)における国内経済は、企業収益の改善傾向に足踏みがみられるものの、国の各種政策の効果もあり、雇用・所得環境の改善が続くなど、景気は緩やかな回復基調が続きました。

百貨店業界におきましては、インバウンド購買の堅調が続く大都市圏の店舗につきましては、化粧品や高級ブランド等の高額品の販売が下支えとなり、売上が堅調に推移しておりますが、その恩恵が少ない地方圏は、依然として前年売上を下回る厳しい商況が続いております。

このような状況の中、当社グループは中期経営計画の最終年度を迎え、そのビジョンに掲げる「日本一生き生きとした百貨店」の実現に向け、各種の営業施策を展開してまいりました。

営業面では、紳士服売場に、英国の老舗紳士服ブランド「アクアスキュータム」を、食料品売場に、姫路の名産品である穴子専門店「あなご料理 棧」や、たつのの人気和菓子店「大黒屋丹治」を、生活雑貨売場に、料理研究家 栗原はるみプロデュースによるブランド「シェア ウィズ クリハラ ハルミ」コーナーを、それぞれ新たに導入するなど、地元の独自性のある商品や、ブランドをより一層強化することで、他社との差別化を図りました。また、婦人・紳士服売場の配置換えを中心とした改装を実施することで、お客さまがより買いやすく、選びやすい店舗環境への見直しを図りました。催し会場につきましては、行列のできる人気のスイーツ店を新規出店で多数取り揃えた「夏の日本列島絶品うまいもの大会」などの人気食品催しや、改元を記念し、過去に人気を博した文化催しを開催することで、お客さまの集客に努めました。また、増税前の高額品購入の需要を取り込むために、黄金展や絵画展などの、美術・宝飾展を早期に開催することで、売上の確保に努めました。

経費面におきましては、広告宣伝費の効率的な運用に加え、水道光熱費や販売・事務用品費の低減を図るなど、限られた経営資源の中で効率的な運用に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、宝飾・美術品等の高額品催しが好調に推移したことにより、9,987百万円(前年同期比2.5%増)となり、営業利益173百万円(前年同期比17.3%増)、経常利益210百万円(前年同期比16.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益146百万円(前年同期比22.6%増)といずれも前年同期を上回る結果となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ123百万円減少し、13,846百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加198百万円等に対し、有形固定資産の減少86百万円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ264百万円減少し、11,590百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加269百万円等に対し、返済による借入金の減少542百万円等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ140百万円増加し、2,256百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加146百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ310百万円減少し、2,044百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は294百万円となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益206百万円、減価償却費139百万円、仕入債務の増加269百万円等によるものであり、前年同四半期連結累計期間に比べ402百万円収入減となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は62百万円となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出57百万円等によるものであり、前年同四半期連結累計期間に比べ14百万円支出減となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は542百万円となりました。これは主として、借入金の返済542百万円等の支払があったことによるものであり、前年同四半期連結累計期間に比べ145百万円支出減となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績等に基づき検討した結果、2019年4月15日付「2019年2月期 決算短信」において公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,355,649	2,044,956
受取手形及び売掛金	696,365	894,700
商品	1,001,447	1,073,045
貯蔵品	7,260	10,185
その他	144,413	155,922
貸倒引当金	△71	△90
流動資産合計	4,205,063	4,178,719
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,326,920	3,264,490
土地	4,728,140	4,728,140
その他(純額)	205,600	181,770
有形固定資産合計	8,260,662	8,174,402
無形固定資産	127,310	125,640
投資その他の資産		
投資有価証券	836,907	827,470
繰延税金資産	61,049	64,506
差入保証金	424,020	423,930
その他	71,475	67,281
貸倒引当金	△15,993	△14,959
投資その他の資産合計	1,377,459	1,368,229
固定資産合計	9,765,432	9,668,272
資産合計	13,970,496	13,846,991
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,830,618	2,100,560
短期借入金	1,160,000	1,027,500
未払法人税等	110,373	72,019
前受金	2,593,158	2,612,858
商品券	1,157,027	1,185,613
賞与引当金	17,565	18,854
役員賞与引当金	4,113	—
商品券回収損引当金	228,700	231,000
その他	533,943	535,134
流動負債合計	7,635,498	7,783,540
固定負債		
長期借入金	3,830,000	3,420,000
退職給付に係る負債	327,849	325,360
その他	61,179	61,502
固定負債合計	4,219,029	3,806,862
負債合計	11,854,528	11,590,403

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	405,000	405,000
資本剰余金	7,554	7,554
利益剰余金	1,753,326	1,899,624
自己株式	△16,391	△16,418
株主資本合計	2,149,490	2,295,761
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,623	11,712
退職給付に係る調整累計額	△55,146	△50,885
その他の包括利益累計額合計	△33,522	△39,172
純資産合計	2,115,968	2,256,588
負債純資産合計	13,970,496	13,846,991

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
売上高	9,741,346	9,987,307
売上原価	7,649,456	7,875,832
売上総利益	2,091,890	2,111,475
販売費及び一般管理費	1,943,579	1,937,567
営業利益	148,310	173,907
営業外収益		
受取利息	202	202
受取配当金	3,013	3,575
受取家賃	1,281	1,248
債務勘定整理益	60,918	62,162
その他	24,198	25,687
営業外収益合計	89,613	92,875
営業外費用		
支払利息	8,205	6,656
商品券回収損引当金繰入額	46,205	48,656
その他	2,202	965
営業外費用合計	56,613	56,277
経常利益	181,309	210,505
特別損失		
固定資産除却損	3,590	3,933
特別損失合計	3,590	3,933
税金等調整前四半期純利益	177,719	206,572
法人税等	58,391	60,274
四半期純利益	119,327	146,298
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	119,327	146,298

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
四半期純利益	119,327	146,298
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,941	△9,911
退職給付に係る調整額	3,395	4,260
その他の包括利益合計	△2,545	△5,650
四半期包括利益	116,782	140,647
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	116,782	140,647
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	177,719	206,572
減価償却費	162,473	139,246
貸倒引当金の増減額(△は減少)	312	△1,015
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,031	1,289
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6,993	1,771
商品券回収損引当金の増減額(△は減少)	△800	2,300
受取利息及び受取配当金	△3,215	△3,778
支払利息	8,205	6,656
売上債権の増減額(△は増加)	△142,361	△198,335
たな卸資産の増減額(△は増加)	△40,001	△74,523
差入保証金の増減額(△は増加)	39,451	90
仕入債務の増減額(△は減少)	297,271	269,942
前受金の増減額(△は減少)	150,129	19,700
未払金の増減額(△は減少)	△10,646	△10,729
未払消費税等の増減額(△は減少)	△31,495	△35,460
その他	108,539	67,320
小計	723,605	391,048
利息及び配当金の受取額	3,686	3,934
利息の支払額	△8,160	△6,294
法人税等の支払額	△22,123	△94,643
営業活動によるキャッシュ・フロー	697,008	294,045
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△72,473	△57,874
無形固定資産の取得による支出	△409	△768
投資有価証券の取得による支出	△3,418	△3,567
投資活動によるキャッシュ・フロー	△76,301	△62,210
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△680,000	△542,500
リース債務の返済による支出	△7,289	—
自己株式の取得による支出	△723	△27
財務活動によるキャッシュ・フロー	△688,013	△542,527
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△67,306	△310,692
現金及び現金同等物の期首残高	2,098,156	2,355,649
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,030,850	2,044,956

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)
当社グループは、百貨店業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。
- II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
当社グループは、百貨店業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。